

登壇

細川：GMO リサーチ&AI 株式会社代表取締役社長の細川です。

本日はお忙しい中、当社決算説明会動画を視聴いただきまして、誠にありがとうございます。

これより、2024年12月期第2四半期決算説明をさせていただきます。

本日のご説明は、こちらに示したアジェンダに沿って進めさせていただきます。

まず、結論と要約です。決算サマリーです。

2024年上半期の業績につきまして、売上高は対前年度比マイナス4.5%の24億6,500万円となりましたが、対前年度比で約2.7億円の特殊要因影響を除くとプラス6.7%です。なお、この影響は上半期で終了見通しです。一方、注力分野は想定通りに進捗しております。

売上総利益は11億9,600万円となりましたが、いわゆる粗利率は対前年比プラス0.6ポイントの48.5%です。これは粗利率の高い注力分野の成長による貢献によるものです。

販売管理費につきまして、販売先フォーカス変更のための営業体制変更、AI活用のための開発投資、CASHMART事業譲受費用で約9,100万円増加しております。

営業利益につきましては、対前年度比マイナス65%の7,000万円を着地しております。

営業外損益の対前年比はプラス100万円で、ほぼ影響を受けておりません。

連結業績予想に対する進捗です。

上半期の最終利益は、売上高は4割程度、最終利益は2割程度の進捗です。一方、下半期は売上・粗利益の増加と、販売管理費の増加要因なしのための大幅な改善が見通されております。そのため、通期の期初予想は据え置いております。

2024年第2四半期事業概況を説明いたします。

まず、世界のデータ分析・インサイト市場について説明いたします。

世界の市場は2022年のデータが最新です。市場全体で約19.3兆円、その中で当社のメイン市場のサンプルパネル提供市場は約3,330億円あり、19.8%の高い成長率となっております。

おかげさまで、当社はこの市場で世界約 9 位のシェアを獲得しておりまして、日本においてはシェア 1 位を獲得しております。また、セルフサービスプラットフォーム市場は現在約 4,785 億円あり、ここはさらに 26.8%の成長を遂げております。

このセルフサービスプラットフォーム市場の成長の理由は、右のグラフにあるように、調査等を行う事業会社が、従来、調査会社に依頼して大規模に行っていたものを内製化し、小型化して、直接実施している背景があると考えております。

次に、前ページの事業環境認識のもとに設定しました、2024 年の事業戦略における粗利益率の高い取引に注力する方針について説明させていただきます。

これは 2023 年第 3 四半期から実施してまいりました、販売先フォーカスの変更施策の継続強化です。国内においてはシェア率 1 位を誇るサンプルパネル提供市場だけでなく、粗利益率の高い、事業会社向け販売でも急成長中となります。ここは事業会社の調査の内製化の流れで需要が拡大しているものですが、当社のプラットフォームでさらに AI 等を活用することで、事業会社が直接にご活用いただけるようになり、成長してまいります。

一方、海外において、アジアのサンプルパネル提供市場に引き続きフォーカスしながら、グローバルパネル会社経由でのアジアパネルを提供していただく部分は、システムの API 連携等でさらに効率化してご提供し、調査会社向け販売を拡大することで、粗利益率の改善となっていきます。

業界全体のトレンド変更・特殊要因の 2024 年上半期の昨年対比における影響について説明します。

特殊要因の影響は、2024 年上半期で 2023 年比 2.7 億円あります。

特殊要因を分類すると、主に大きく二つあります。

第 1 に、高原価案件の絞り込みがあります。海外のグローバルパネル連携において、2023 年第 3 四半期から開始しており、その影響額は上半期で対前年度比 1 億 2,400 万円です。中国・インド調査会社において、2023 年第 2 四半期から開始しておりまして、その影響額は対前年度比約 1,200 万円になります。

第 2 に、資本再編・特定大型案件の減少があります。こちらは国内のみで 2023 年第 3 四半期から開始しておりまして、その影響額は上半期で対前年比約 1 億 3,500 万円です。

これらは 2024 年第 3 四半期以降には、発生しないと見通しております。

国内・海外売上高の上半期実績になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



まず、国内売上は前年比マイナス 5%です。ただし、前ページで説明しました、業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約 1 億 3,500 万円あり、その分を除けば、前年比プラスの 2%となります。特殊要因などにより、期初年間予想よりも低い状況にありますが、これは想定範囲内と考えております。

海外売上は前年比マイナス 3%です。ただし、業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約 1 億 3,600 万円あり、その分を除けば、前年比プラスの 21%で、期初年間予想マイナス 2%を大幅に超えております。また、海外売上高比率は約 26%となり、前年比 0.3%増でございます。

2024 年上半期、国内販売先別の売上実績についてご説明させていただきます。

事業会社向け売上は上半期で 33%の成長です。期初年間成長予想 54%に対し 20 ポイント程度低いですが、一時的な成長率低下になります。これについては、後ほど四半期別の通期見通しで説明いたします。

粗利率は 71%で、昨年とほぼ同率で高く維持できております。なお昨年は通期で 74%になっておりまして、下半期にこちらも改善する傾向にあると思っております。

一方、調査会社向けは特殊要因の影響を考慮すれば、ほぼ前年並みです。ただし、期初年間予想には届いておらず、多少弱含みのトレンドとなっていると考えております。粗利益率は 57%で前年並みを維持しております。なお、昨年は通期で 59%になっておりまして、事業会社向け同様に、下半期に改善する傾向にあると考えております。

2024 年上半期、海外の販売先別の売上実績についてご説明させていただきます。

海外調査会社向けの売上は、期初年間成長予想が 21%に対して 27%の成長で、順調に拡大しております。粗利益率は前年比 4 ポイントの改善となっております。

一方、グローバルパネル会社向けは、期初年間成長予想はマイナス 14%でしたが、上半期においては昨年対比でマイナス 43%となりました。しかし、特殊要因の影響を除けば、12%の成長となっております。粗利益率は前年比プラス 12 ポイントと大幅改善となりました。この改善は高原価案件の絞り込みの成果と考えております。

国内販売先別の通期見通しに関して説明いたします。

まず、粗利益率の高い事業会社向け売上についてです。

第 1 四半期の成長率 57%増に対し、第 2 四半期の成長率が 10%増と、低下しているように見えますが、これは一時的な成長率低下になります。通常の業界の季節変動は顧客の予算消化の関係で、

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



第1四半期がピークで、第2四半期は年度最低となるのが一般的です。しかし、2023年の第2四半期において、一時的な大型案件約4,000万円があり、第2四半期が第1四半期同様規模の売上となったために、2024年の第2四半期の成長率が一時的に低下して見えるようになっております。

一方、売上トレンドの先行指標となります、引き合いの件数においては、2024年は第1四半期に引き続いて、第2四半期も前年度比で約60%以上と、増加トレンドが継続しているのを確認しております。そのため、下期においても堅調に期初予想以上の成長を維持できるものと見通しております。

また、調査会社向け売上につきまして、対前年度比で特殊要因の影響が第2四半期まで残り、第3四半期以降は残らない見通しです。特殊要因を除いた状態では若干弱含みのトレンドではあるものの、下げ止まりのトレンドは確認できています。第3四半期以降は、前年対比のステイのトレンドで見通しております。

海外販売先別の通期見通しに関して説明します。

まず、粗利益率の高い調査会社向け売上は、順調に成長しておりまして、第3四半期以降も継続成長の見通しであります。

また、グローバルパネル会社向け売上は、対前年比で特殊要因の影響が第2四半期まで残りましたが、第3四半期以降は残らない見通しであります。

販売管理費の見通しです。

2024年上半期は、販売先フォーカス変更のため営業体制変更、AI活用のための開発投資、CASHMART事業譲受費用により、人件費も含め、販売管理費全体で増加いたしました。

2024年下半期は増加要因なしのため、2023年の上下バランスよりも抑制していく方針であります。

当社がアジアで構築しているパネルネットワークです。

2024年7月現在で、アジア16カ国の国と地域において、合計6,412万人超のパネルネットワークを構築できております。これは現在、業界最大規模と認識しております。

パネルネットワークの規模を拡大し、対応できる国を増やすことにより、大型案件や複数カ国にまたがる案件なども対応することが可能になり、お客様に対する提案力、競争力を高めることができると考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



現在、430社のロイヤルティー会員保有企業（媒体）様とAPI接続しております。

API接続の詳細については、次のページで説明いたします。

当社のAPI接続は、このようにロイヤルティー会員を保有する媒体にアンケートコンテンツを提供しまして、消費者がアンケートに回答することで、媒体のポイントが獲得できるような接続をアジア全域で展開しております。

430社の接続の中の一つ、日本での例が、こちらに示しております、Vポイント様との連携になります。

API接続の数は430社を超えておりますが、次のAIのステップにおいては、この提携関係が重要なアセットに変革していくと考えております。

今後、当社が成長していく上で、非常に大きなAIの段階ステップにおきまして、このような4つのステップを考えております。

現在行っているのはStep1、販売先フォーカスの変更で、こちらは先ほど説明した通りでございます。AIにより、これも実現が可能になっていくといったものです。

Step2においては、われわれのプラットフォームにAIを乗せることによって、お客様の生産性の劇的な向上＝業界全体の生産性の向上ができると確信しております。これは、われわれが国内において70%のシェアを獲得しているから実現できることだと思っています。

Step3は、AIによるパネルとの関係性が変わってくると思っております。特に、パネルの方々が回答いただくための負荷を軽減できるような、同様のアンケートの数を減らしていくといったことが実現できるかと思っています。

Step4においては、このAIを、さらにわれわれのロイヤルティー会員を持った企業様との取り組みの中で活用していくことで、ロイヤルティー会員様のお客様との関係性を改善できると思っております。このStep4の取り組みは、この後、一つの事例として説明できると思っております。

こちらが、Step4までのタイムフレームに乗せたときのタイミングです。

2024年においては、Step1で現在走っていますが、このように次のステップが乗ってくると考えております。

今年、まず第1弾、ETE HOLDINGS社と資本・業務提携をさせていただきました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



こちらは、われわれの Step4 に当たる部分ではありません。この企業は AI のベンチャー企業様で、デジタルツインを作る技術を持っておりますので、われわれが所有するパネル 16 カ国の会員様のデジタルツインを世界中に作るといったことができるかと思っています。これをすることで、われわれはこの提携で今後展開されるマーケティング関連サービスの全世界における独占販売権を取得しているという状況です。

この取り組みがどういったことを実現できるかという、例えば、先ほどご説明した、ロイヤルティ会員保有企業様にこの技術を提供することによって、行動データを元に、ロイヤルティの高いお客様を判定できるかと思うのですが、ロイヤルティの高いお客様に対して、ユーザー自体を、デジタルクローンを育てることをしていただくことによって、実際のアンケートを送らなくても、その会員と 24 時間 365 日、いろんなチャットができる、インタビューみたいなものができるというふうに考えております。さらに、行動属性と合わせることによって、特にロイヤルティの高いお客様の声のフィードバックとか、そのようなことを非常に企業がやりやすくなるし、いろんな意思決定のスピードを早めていくことができると考えております。このような取り組みをイメージして、今回の事業提携を進めております。

以上が、全ての説明になります。

「想いを、世界に」、GMO リサーチ&AI 株式会社、本日はありがとうございました。

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

